



\\ 伝統と清らかな湧水に触れる、小さな寄り道の楽しみ //

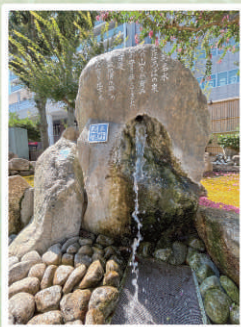
秦野駅周辺

●弘法の清水



弘法大師が杖で地面を突くと水が湧いたという伝説が残ります。環境省「名水百選」に選ばれた秦野盆地湧水群のひとつです。

●まほろばの泉



秦野駅北口広場にある秦野盆地の地下水から湧き出る清らかな秦野名水を味わえるスポットです。



●水無川緑地



秦野駅からすぐの水無川緑地は、川沿いをのんびり散歩できるいやしのスポットです。

権現山



●弘法山公園展望台

昭和25（1950）年、弘法山公園が神奈川県新八景に選定されたときにつくられた見晴台が老朽化し、跡地に21世紀記念事業の一環として現在の展望台が平成13（2001）年に建てられました。また、国土交通省の「関東の富士見百景」に選定されています。



●馬場道

権現山と弘法山を結ぶ尾根道は馬場道といわれ、戦前は農民が草競馬を楽しんでいました。

●弘法の乳の水

弘法山にある井戸はかつて白くて乳の香りが漂う水が湧いていて、乳の出ない親がこの水を飲むと乳が出るようになるといわれていました。またこの水で目を洗うと重い眼病が治るともいわれていました。



●弘法山の鐘楼

江戸時代から「時の鐘」として秦野の人々に時を知らせ、親しまれてきました。戦時中には金属類の供出が求められましたが、地域の人々の強い反対により免れ、今も変わらず残されています。

弘法山

●弘法山の伝説



吾妻山

●吾妻山山頂



山頂には日本武尊を祀る吾妻神社の石碑があります。妻・弟橘媛が海に身を投げて荒れる海を鎮めた伝説に由来し、全国の吾妻神社の名の起りとして知られています。晴れた日には三浦半島や江の島、湘南の海を一望できる絶景スポットです。

むかし、名も知られぬ旅の僧だった弘法様が、秦野の仁左衛門という百姓の家に一夜の宿を借りました。のちに弘法様は近くの山で修行を行い、不思議な力で村人を救ったと伝えられています。人々はその徳を慕い、修行の山を「弘法山」と呼ぶようになりました。以前、釈迦を安置していたお堂には、弘法大師像がまつられています。



●バードサンクチュアリ



野鳥の水浴びを間近に観察できる県内でも有数のスポット。



鶴巻温泉駅周辺

●鶴巻温泉

明治22（1889）年頃、井戸水を浴用に利用したのがはじまり。大正7（1918）年には旅館「平塚園」（現：陣屋）が開業し、大山詣の客で賑わいました。昭和2（1927）年、小田急線と鶴巻駅の開設により「鶴巻温泉」の名が広く知られるようになりました。



●延命地蔵

約250年前、江戸の商人が米寿（88歳の祝い）を記念して造立したといわれ、伊勢原市子易で造られ、秦野へ運ぶ途中にこの地で動かなくなったため、ここに安置されたという説が残っています。今なお「長寿」を願う人々に親しまれ、地域を見守り続けています。

